

報道関係者各位

三井不動産レジデンシャル株式会社

つくばエクスプレス線「柏の葉キャンパス」駅徒歩 1 分について誕生する大規模免震タワーレジデンス

「パークタワー柏の葉キャンパス」

2025 年 9 月 26 日（金）より、第 1 期モデルルームオープン

三井不動産レジデンシャル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：嘉村徹）は「パークタワー柏の葉キャンパス（以下、「本物件」）」の第 1 期モデルルームを 2025 年 9 月 26 日（金）よりオープンいたしますので、お知らせいたします。

本物件は、「世界の未来像をつくる街」を目指す「柏の葉スマートシティ」（千葉県柏市）の中心エリアに位置し、つくばエクスプレス線「柏の葉キャンパス」駅徒歩 1 分の立地に誕生する地上 43 階建、総戸数 629 戸の大規模免震タワーマンションです。周辺建物と調和しながら、空へ伸びゆく上昇感を感じさせる建物デザインとなっており、エリア最高層（※ 1）にふさわしいランドマークレジデンスとなります。専有部は、多様なライフスタイルに対応できるよう、1 R～4 LDK まで多彩なプランをご用意しています。いずれも高い天井高・サッシ高を確保し、開放的で心地よい暮らしを送ることができます。2025 年 6 月 4 日のホームページ開設以降、これまで 4,800 組を超えるお問い合わせをいただいております。また、第 1 期の販売開始は 2025 年 11 月下旬を予定しております。

今後も、三井不動産レジデンシャルの全住宅事業のブランドコンセプトである「Life-styling × 経年優化」のもと、多様化するライフスタイルに応える商品・サービスを提供するとともに、安全・安心で快適にらせる街づくりを推進し、持続可能な社会の実現・SDGs へ貢献してまいります。



外観完成予想 CG

本物件の特長

1. 「柏の葉キャンパス」駅徒歩 1 分、「ららぽーと柏の葉」まで徒歩 2 分と利便性が高く自然豊かな好立地。
2. 「3C ラウンジ」や「ワークスイート」、「スカイラウンジ」など、幅広い世代・ライフスタイルに対応する充実の共用部。
3. 柏の葉スマートシティが推進する「新産業創造」「健康長寿」「環境共生」のまちづくりへの貢献。

1. 「柏の葉キャンパス」駅徒歩 1 分、「ららぽーと柏の葉」まで徒歩 2 分と利便性高く自然豊かな好立地

本物件は、つくばエクスプレス線「柏の葉キャンパス」駅から徒歩 1 分と駅至近に位置しており、「北千住」駅まで約 23 分、「秋葉原」駅まで約 34 分と都内へのアクセスが優れています。「ららぽーと柏の葉」までは徒歩 2 分で、周辺には商業施設、ホテル、オフィス、病院に加え、45ha の広大な敷地を有する柏の葉公園や、憩いの親水空間「柏の葉アクアテラス」も徒歩圏内にあり、便利な生活環境と豊かな自然が広がっています。また、常磐自動車道「柏 IC」へ車で約 3 分、成田空港や羽田空港へのリムジンバスも利用可能であり、レジャーやビジネスシーンにも柔軟に対応できる交通利便性の高い立地です。



柏の葉公園



ららぽーと柏の葉

2. 幅広い世代・ライフスタイルに対応する充実の共用部

本物件は、多様化するライフスタイルにお応えするため、様々な共用空間をご用意しております。子どもを中心にまちと教育をつなぐ共創型コミュニティデザインラボ「まちの研究所」(※ 2) 監修による、「3C ラウンジ (Curiosity (好奇心)・Creativity (創造性)・Collaboration (協調性) の頭文字をとって 3 C)」には、ネット遊具や探求スペースなどを設け、子どもの好奇心や探究心を育み、年齢を問わず遊びと学びをサポートします。また、多様化する働き方をリサーチし、未来のワークスタイルを実践・発信する「ワークスタイル研究所」と「ヨコク研究所」(※ 3) 監修のもと、社長室のような個室ブースを備えたワークスペース「ワークスイート」を設置。さらに、40 階の「スカイラウンジ」では、エリア最高層の眺望を楽しみながら、パーティや大人の憩いの場としての利用が可能です。そのほか、「ゲストルーム」「ランドリールーム」「フィットネスルーム」など、多彩な共用空間が豊かなライフシーンを創造します。



3C ラウンジ (ネット遊具) 完成予想 CG



スカイラウンジ完成予想 CG



ワークスペース完成予想 CG



ゲストルーム完成予想 CG

3. 柏の葉スマートシティが推進する「新産業創造」「健康長寿」「環境共生」のまちづくりへの貢献

柏の葉キャンパス駅周辺は、つくばエクスプレス開業以降、三井不動産グループも携わる、公（千葉県・柏市）・民（住民・民間企業）・学（大学）の連携により、「新産業創造」「健康長寿」「環境共生」を 3 本柱として、大学や研究機関の集積、緑豊かな公園やホテル・商業施設を有するミクスユースのまちづくりが行われています。

本物件においても、柏の葉キャンパスに拠点を構える東大発スタートアップ「Yanekara」（※ 4）の EV 充電器「YaneCube®」の住宅用駐車場初採用や、雨水を集めて地中に浸透させることで洪水や水害のリスクを軽減するバイオスウェルを施した外構計画など、まちづくりのテーマに沿った取り組みを行っております。

また、環境認証においては、「ZEH-M Oriented」を取得しています。

<注釈>

※ 1 最高層 = 本計画は柏市内で最も高い分譲マンション。※ 1995 年 1 月～2025 年 4 月、(有)MRC 調べ

※ 2 [TOP | まちの研究所](#)（本社：東京都渋谷区、代表取締役：松本理寿輝）

※ 3 [WORKSTYLE RESEARCH LAB. | ワークスタイルケンキュウジョ](#)、[ヨコグ研究所](#)（住所：東京都港区、所長：山下正太郎）

※ 4 [株式会社 Yanekara | 公式企業サイト](#)（本社：千葉県柏市、代表取締役：松藤圭亮/吉岡大地）

※掲載の各完成予想 CG は計画段階の図面を基に描き起こしたものと周辺環境写真等を合成したもので建物の形状・色等は実際とは異なります。

なお形状の細部、設備機器等は表現しておりません。表現されている植栽は初期の育成期間を経た状態のものを想定して描いており、竣工時は植物の育成を見込んで必要な間隔をとって植えております。施工上の都合により、設定位置・樹高・本数等変更となる場合があります。また、眺望の表現は眺望写真に CG を合成したもので、実際の住戸からの眺望と異なります。眺望・景観は各階・各住戸により異なり、今後の周辺環境の変化に伴い将来にわたって保証されるものではありません。

※共用部の家具・調度品・アート作品等は変更となる場合がございます。

※現地からの徒歩分数は、80m を 1 分として算出し、端数は切り上げております。

※共用部の使用については管理規約に従っていただきます。

■「パークタワー柏の葉キャンパス」物件概要

所在地	千葉県柏市柏都市計画事業柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業地区区内 149 街区 1 画地、12 画地および 13 画地（地番）
交通	つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅 徒歩 1 分
用途地域	商業地域
構造・規模	住宅棟：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・地上 43 階建、駐車場棟：鉄骨造・地上 7 階建
敷地面積	8,217.00 m ²
間取り	1 R～4 LDK
専有面積	24.68 m ² ～114.73 m ²
総戸数	629 戸（一般販売対象住戸 597 戸）
竣工時期	2027 年 7 月上旬（予定）
事業主	三井不動産レジデンシャル株式会社
設計・施工	株式会社熊谷組
オフィシャル HP	https://www.31sumai.com/mfr/G2401

■ 位置図



■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ＆インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】・「グループ長期経営方針」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

■三井不動産レジデンシャル「カーボンニュートラルデザイン推進計画」について

https://www.mfr.co.jp/content/dam/mfrcojp/company/news/2022/0315_01.pdf

すまいの高性能・高耐久化による省エネルギーの実現や、再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、ご入居後の暮らしにおいても、楽しみながら省エネルギー行動等の環境貢献に取り組んでいただけるようなサービスの提供を推進し、すまいとくらしの両面からカーボンニュートラルの実現を目指していきます。